

公表:令和6年3月 1日

事業所名キッズサポートみらい 児童発達支援

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			その日の利用児童の特性に応じて配慮している	事業所の管理レベルで判断できない。経営側と調整する必要がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員一人に対して担当児童2人を基本とし、放デイと連携しながら運営している	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			活動の流れが把握しやすいような視覚情報の提示、情報量の精選を配慮している	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			担当職員で分担して定期的に作業を実施している	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々の振り返りを、次の活動へ活かす共通理解と実践の記録を継続している	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			HPで公表し、保護者との相互理解と広く意見を収集することに努めている	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			職員間で情報を共有し、意見交換を行っている。連絡帳や毎月のお便りでも周知している	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在のところ未実施 必要に応じて、今後検討 事案である	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			みらい2ndと本年度合同 研修を実施 職員の希望に応じて自己 研修の機会も提供	量の検討と質の検討も 随時行っていく。
適切な支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			定期的に面談等で情報を交換、共有し、経過を観察しながら作成と修正を加えている	研修等を受講し、継続した支援計画が作成できるように日々研鑽していくことが必要と思われる。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全職員で子どもの現状や特性を把握し、継続して評価と支援を実施している	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			計画に従って、日々の支援案を検討し、保護者と連携を図りながら内容設定に努めている	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			計画を基に、個別に支援を実施している	

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全職員で割り振りしながら、企画・運営を行っている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			静と動のバランス考慮し、異年齢集団でも活動できるプログラムで運営している	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか			○	子どもの特性や発達に応じて今後充実させていく事案である	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎月の計画を前月に立案し、計画的に準備しながら、分担表で前日に再確認を行っている	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎回、振り返りの時間を確保し、全体の流れの評価と児童個別の支援を話し合い、記録に残し、相互研修の機会にしている	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			データの電子化と書面での記録を並行して行い、支援にフィードバックできる体制を整えている	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			適時保護者との連携を図りながら、判断している	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			各担当者で相互理解の上で取り組んでいる	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関や関係機関と連携した支援を行っているか	○			相談支援センターや関係機関と連携は密に行っている	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	現在対象となる児童が利用なし	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	現在対象となる児童が利用なし	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	現在対象となる児童が利用なし	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	現在対象となる児童が利用なし	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			近隣の事業所との交流研修や研修会への参加や助言からスキルアップを図っている	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	現在、未実施	

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		支援中に会議があると難しい場合もあるが、前向きに参加を検討している	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		連絡帳やメール、電話、送迎時の対話等、あらゆる機会にコミュニケーションとっている	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		本年度、コメント2ndと合同で実施予定(2月中旬)	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		誠実なきめ細やかな対応を心がけ、要望に応じて随時説明は行っている	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		○		立案時の対話、書面での確認を行い、安心して利用できるように努めている	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		日々の情報交換や複数の職員や専門機関と連携の上、相談に応じている	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、本事業所における保護者会を立ち上げてない(保護者の負担も考慮する必要もある)	
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		話しやすい雰囲気づくり、子どもの声なき声にも気づけるよう、高くアンテナをはり、迅速な対応を心がけている	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		毎月のお知らせで事前に情報を発信し、活動の様子も紹介している	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか		○		本事業所の規定に従って順守している	
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		絵カードやグラフ図、視覚情報を組み合わせて相互理解を工夫している	
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所レベルでは未実施(子どもの特性や保護者の意向を確認する必要がある) 会社としては地域貢献・交流活動は行っている	
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか			○	検討事案である
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	検討事案である	
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		○		利用時の共通理解と共通実践、複数の職員での確認での実施を行っている	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか		○		現在対象児なし	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	情報の共有はミーティングにて行っている	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			マニュアルにて研修を深め、チームとしても相互に対応できる体制づくりを行っている	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		現在対象児なし	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。